

アカデミー生へのドローン講習会を開催しました

徳島県、徳島県森林（もり）づくり推進機構、四国森林管理局との間で締結した、「人材育成連携協定」に基づく人材育成に向けた取組みとして、9月24日（木）、とくしま林業アカデミー第5期生12名を対象に、徳島県立神山森林公園でドローン講習会（自動飛行）を開催しました。

まず、署長の挨拶に続き、森林技術指導官よりドローンの活用の取組事例の紹介、自動飛行の設定方法の座学を実施し、その後、森林公園へ移動し自動飛行の操作実習を行いました。研修生は、8月に基礎的な研修を受講しており、最初はドローンの自動飛行の設定に苦慮していましたが、3班に分かれて自動飛行をスタートさせると、設定したコース通りに飛行する様子に感動した様子でした。

徳島署では、このように関係機関・団体等が取り組む人材育成について、今後とも積極的に支援してまいります。



署長の挨拶



座学の様子



ドローン自動飛行設定の様子



ドローン飛行操縦の様子

那賀高校生へ森林環境教育を行いました

平成28年度から人材育成支援の一環として取り組んでいる那賀高校森林クリエイト科への森林環境教育ですが、本年度は新型コロナウイルスの影響で1学期が中止となったため、2学期からの実施となりました。

その1回目として9月30日に1年生に対して、「森林のもつ多面的機能」をテーマに、模型を使った実験等を行いました。4月に入学して今回が初めての森林環境教育になりましたが、生徒達は森林の機能についての実験の様子に興味深く見ていました。

また、10月15日には2年生に対して、「森林・林業・木材産業の現状及び新たな木材利用、国有林野事業」をテーマに行いました。1学期に実施予定だったテーマを含む内容で、時間的にも厳しかったですが、生徒たちは真剣に耳を傾けていました。

徳島署では、今後も引き続き那賀高校のニーズに合った森林環境教育に取り組んで行くこととしています。



1年生 講義する森林技術指導官



1年生 模型をつかった実験の様子



2年生 地域林政調整官による講義



2年生 真剣に耳を傾ける生徒

バイオマス発電所見学会を開催しました

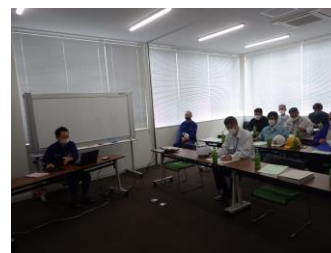
徳島署は、平成28年度から徳島県、三好市、そして三好地区の林業事業体で構成する「ケーススタディ会議」を設置し、地域の森林・林業の再生に向けた課題把握と、それらの解決に向けて、民有林と国有林が連携した取組を行っています。

この取組の一環として、徳島県阿南市辰巳町にある「クラウボウ徳島バイオマス発電所」の見学会を10月7日（水）に、会議メンバー11名、職員3名の計14名が参加し開催しました。

見学会は、まず会議室で岩城所長から徳島のバイオマス発電に参入した目的や、概要について説明があり、その後発電所の施設見学へと移動しました。

見学終了後に質疑応答を行い、参加者から、「発電の燃料の木材の調達はどこからなのか」、「使用している木材はどのような樹種なのか」などの質問が出され、岩城所長から丁寧な回答をいただき、有意義な見学会となりました。

今後もケーススタディ会議を通して、現地検討会を開催するなど地域の課題とその解決に向けた取り組みを支援してまいります。



岩城所長による発電所の概要説明



施設見学の様子



施設見学の様子



見学会後の署長によるお礼の挨拶



四国森林管理局 徳島森林管理署
TEL:088-637-1230/FAX:088-666-1818
〒771-0117 徳島県徳島市川内町鶴島239-1

